

## 令和5年度第8回（11月度）役員会議事録

会長 大塚 邦丸

監事 吉川 翰佑

1. 開催日時 令和5年11月12日（日）10時30分～12時00分
2. 開催場所 ちはら台自治会館2階大会議室
3. 出席役員 会長（大塚）、副会長（川上・小出）  
理事（上川原・山口・岩月(委任出席)）、会計理事（石井）  
監事（吉川）、顧問（市野）
4. 概要（詳細は「5. 内容」に示す）

（1）各担当より10月の活動状況の報告並びに11・12月の予定の確認がなされた。

（2）大塚会長より連合会からの連絡事項について報告がなされた。

①市制施行60周年特別表彰「自治功労者表彰」 ②土砂埋立てによる造成工事のお知らせ

③清水谷小学校創立30周年記念式典について

（3）大塚会長より南5丁目自治会関連活動報告がなされた。

①10月の資源回収実績 ②SNSアプリ「band」の利用状況

（4）大塚会長から予め役員にメールで配付された「ちはら台南5丁目地区 防災のしおり（案）」

について、意見交換がなされた。引続き加筆・修正等の意見を吸い上げ、より良いものとしていくこととした。

（5）前回の役員会において、大塚会長より提案のあった「来年度に向けた各役員の業務内容の見直し」について、意見交換がなされた。引続き検討を加えていくこととした。

（6）市のゴミ集積所前の住民から、資源ゴミの量が多く困っているとの相談があった。自治会でできる範囲の改善（ネットボックス使用呼びかけ、回収場所の調査、再配分）を検討していくこととした。

（7）南5親睦会についての説明を回覧することとした。

（8）市原市清掃事業記念品で贈呈されたカタログギフトでヘッドライトを注文することとした。

## 5. 内容

### (1) 活動状況報告（10月1日以降本日（11/12）まで）

資料1 「10月中における各活動状況報告」参照

#### ① 防犯パトロール（川上副会長）

- ・実施日時 10月28日(土) 19時から約30分間実施
- ・参加者数 10名（Aブロック7名、Bブロック2名、Cブロック1名）

#### ② 公園清掃（小出副会長）

- ・実施日時 10月28日(日) 9時から約30分間実施
- ・担当班 A-1班、A-2班 参加者数32名 世帯参加率 A-1班27.3%、A-2班62.5%
- ・ゴミ収集結果 可燃ゴミ60袋（55袋）、不燃ゴミ（ビン・カン）0袋（1袋）、  
枝8束（0束）（）内は昨年実績
- ・清掃箇所 清水谷公園及びその周辺の歩道、遊歩道など
- ・その他
  - ・コンビニ関係のゴミ（弁当、割り箸、ビール・コーヒー・ジュース缶、菓子袋、煙草）が増えた（1袋分）
  - ・公園植栽の伐採された残り分（約20本のツバキ）の片付け実施

#### ③ 会計実績報告（石井会計理事）

- ・収入 12,646円（資源回収6,234円、市原市資源ごみ助成6,412円）
- ・支出 8,982円（公園清掃関連7,867円、事務用品費1,115円）
- ・その他支出 ちはら台自治会連合会下期上納金・コピー使用料 154,958円  
役員活動費120,000円
- ・下期の自治会費回収は、ひとまず実施しないことでアナウンス済

#### ④ あいさつ運動（山口理事）

- ・実施期間 11月6日（月）～11月10日（金）
- ・参加者数 6日(月)4名、7日(火)3名、8日(水)3名、9日(木)4名、10日(金)4名

#### ⑤ 防犯灯点灯状況調査結果（吉川監事）

- ・実施日時 10月17日(火) 18時10分から40分間  
10月18日(水) 4時から50分間実施
- ・結果 南5丁目区域内の防犯灯はすべて点灯しており、不点のものはなかった。

### (2) 11月・12月の行事確認及び役割分担確認

資料2 「11月・12月の行事確認及び役割分担確認」のとおりとすることが確認された。

#### 11月

- ・公園清掃 11月25日（土） 9：00～
- ・防犯パトロール 11月25日（土） 19：00～

#### 12月

- ・町内一斉清掃 12月23日（土） 9：00～
- ・防犯パトロール 12月23日（土） 19：00～

(3) 連合会からの連絡事項（大塚会長）

①市制施行60周年特別表彰「自治功労者表彰」について

資料3 「市制施行60周年特別表彰「自治功労者表彰」について」参照

- ・市野顧問が自治功労者として表彰される。（11月26日（日）記念式典開催予定）

②土砂埋め立てによる造成工事のお知らせについて

資料4 「土砂埋め立てによる造成工事のお知らせ」参照

- ・南5丁目に直接影響はないが、土砂搬入の車両がちはら台を通るので注意。

③清水谷小学校 創立30周年記念式典について

資料5 「清水谷小学校 創立30周年記念式典について」参照

- ・11月18日（土）9時15分～11時40分 記念式典が行われる。

(4) 報告事項（大塚会長）

①10月の資源回収実績について

資料6 「10月の資源回収実績について」参照

- ・10月15日（日）雨天の影響で先月より大幅に減少した。

②SNSアプリ「band」の利用状況について

資料7 「SNSアプリ「band」の利用状況について」参照

- ・現在59名登録（Aブロック17名、Bブロック31名、Cブロック11名）  
前月より8名増えたが、引き続き周知を図っていきたい。

(5) 検討事項（大塚会長）

①防災計画の作成について

資料8 「防災計画の作成について」

資料9 「ちはら台南5丁目地区 防災のしおり(案)」参照

予め各役員に大塚会長からメールで配付された（11/5）「防災のしおり（案）」について、意見交換を行った。（作成者：石井会計理事）

a 「防災のしおり（案）」の概要

- ・ちはら台南5丁目自治会の一人ひとりの防災意識向上の一助となるよう作成した。
- ・基本方針：自分の身は自分で守る。そして、それぞれができる範囲で協力し合う。
- ・当自治会及びその周辺地域が、災害に対してどのような特徴をもっているかについて市原市の資料をもとに掲載。
- ・予め役員や特定の個人に役割を固定せず、その時の状況に応じ、活動可能な人で防災体制を組織する。
- ・災害時の安否確認方法（Bandや安否確認カード）。
- ・自助のための防災情報を公的な機関等から引用掲載。

b 質疑、意見

- ・予め役割を決めておかないと、いざという時動かないのではないかと。  
小グループに分けて、その中で誰が何をするか決めておくことはできると思うが。  
（小出副会長）

- 事前に役割を決めて、責任分担しておくことは、自治会を運営していく上で、役員を選出するのが難しくなる等、難しい面があると思われる。そのため、本しおりでは、災害発生時に協力して実施すべき活動に重点を置いて記載しており、災害の際に協力していただける人で分担できるようにしている。(大塚会長、石井会計理事)
- 事前に名前を入れない実施フローを作成しておき、災害の際に役割を与えるように準備しておくのは重要であるため、本しおりに加筆する。(石井会計理事)
- ・個々に割り当てられた固定的な役割の責任のもとで行動するのではなく、みんなで出来る範囲のことを臨機応変にやっていくことが望ましいと考えている。自分の身を守ることを誰もが基本として行うこととしているが、有志によりそれ以上の防災体制を作れることは良い事だとは思っている。ただ、自主的に活動できる人が行うのであればよいが、人や状況によりできる範囲は異なるため、会員の負担になるようなものにすべきではないと考えている。(大塚会長)
  - ・市としての方針のようなものはないのか (小出副会長)
    - 各自治会に任されているが、市としても基本的には自助を呼びかけている。(大塚会長)
  - ・ちはら台は、市原市が示している資料を見るに災害リスクが低いため、河川氾濫の危険性や津波の危険性があるような自治体に比べて、防災体制づくりが難しいといえる。(石井会計理事)
  - ・民生委員や消防団の役割は？ (小出副会長)
    - 民生委員の方は要介護者等を把握している。ちはら台を管轄する市津支団第9分団の団員は全部で16名いるが、南5丁目にはいない。(大塚会長)
    - 今後本しおりを作っていくうえで、民生委員の方との連携が必要である。(石井会計理事)
  - ・しおりの中で市原市のハザードマップが記載されており、このちはら台南5丁目はリスクが低いことが示されている。しかし今後、気候変動等で、さらに大雨が降るような事態が考えられるが、その場合でも南5丁目は問題ないといえるのか。例えば、雨で地盤が緩んで、地震でより揺れやすくなるとかは大丈夫か。地質ごとに異なるのではないのか。(小出副会長)
    - しおりの中で示した市原市のハザードマップでは、地域を50メートル四方ごとに区切ったうえで、揺れ方と関係が深い、地表から深さ30mまでの地盤特性を用いて、想定地震でどのように揺れるのか評価している。そのため雨で地盤が緩んで、地震の揺れ方が変わるといった評価は、ここでは検討されていない。(石井会計理事)
    - ご指摘の面でいうと、大雨で宅地造成の盛土が崩れる危険性は、ゼロとは言えないので、そういったリスクはしおりの中で伝えてもよいのかもしれない。(石井会計理事)
  - ・しおりの中に示されている避難所は、必ず安全と言えるのか？例えば関東大震災の時のように火災旋風の被害に遭ってしまうようなリスクはないのか。(小出副会長)
    - ここで記載した避難所(清水谷小学校、ちはら台南中学校、ちはら台コミュニティーセンター)は、市原市指定の避難所であり、懸念するようなリスクがあるか否かについては、ここでは検討できない。(石井会計理事)
  - ・自治会で設置した消火器や防災倉庫の備品を、自治会員がどのようにして使ったらいい

のか加筆した方がいいと思う。(吉川監事)

→ブロックにより、防災倉庫の鍵を持っている人(副会長や班長)が違うようなので、役員と班長は全員持っているようにしたいと思う。また、消火器箱には施錠はされていないので、誰であっても火事を発見した方が消火器を初期消火に利用してもらえらる。しおりの中で消火器の使い方についても示すようにしたい。(大塚会長)

- ・いざという時は自治会で保有している備品だけでは、救出活動や避難所運営ができないことが予想される。災害時に必要であると思われるもので、会員が保有していそうなもの(バールとかジャッキ等)については、予め確認しておいたほうがよいのではないか。→必要なものについてのリストは付けてよいと考える。リスト作成の検討が必要と思う。(石井会計理事)

- ・災害時対応の教育・訓練(救助・救出方法、他)を各自治体で実施している。安全に実施できる実技訓練も含まれており有用と思われる。個人で受講するのは難しい場合もあるので、受講希望者を自治会の名前で派遣して欲しい。(小出副会長)

- ・この「防災のしおり」について加筆、修正等意見があれば、連絡願いたい。(石井会計理事)

## ②来年度に向けた各役員の業務内容並びに自治会体制の見直しについて

資料10「来年度に向けた各役員の業務内容見直しについて」参照

前回の役員会議(10/1開催)において提案のあった題記について、意見交換を行った。

### a 提案の概要

- ・定例役員会の廃止：報告連絡のみであればメールで行う等
- ・副会長業務の分離：副会長は各ブロックの総括のみを担当する。
- ・防犯・清掃・行事・広報担当理事の新設
- ・班長への報酬支払(もしくは自治会費免除)
- ・回覧資料の電子化：回覧資料はホームページで見てもらい、配付は必要な家庭のみとする。
- ・自治会費の減額及び年1回集金：年額3,000円を目標とする。
- ・各副会長・班長の流動的な運用：所属のブロックに限定せず、また兼務を可能とする
- ・役員報酬の見直し：減額する方向で見直す。

### b 質疑・意見

- ・定例役員会の廃止について

→一気に無くすのではなく、回数を例えば3か月に1回とかに減らしていく方がいいのではないか。(石井会計理事)

→会長の負担が大きくなるように思えるが、副会長に分担してもらうことも考えていいのではないか。メールだけでなく、顔を合わせて話し合うことは意義があると思う。

(小出副会長)

→役員会をなくすということではなく、定例で行うことをやめてはどうかという提案である。報告連絡事項のみであれば、第6回のときのように書面開催で良いと思う。集まることで絆のようなものも育まれていると私自身感じているが、日曜日のこの

時間に集まることやその準備に要する時間を考えるとできるだけ少ない方がいいというのが正直なところである。分担できればとは思いますが、一番時間がかかるのはこの資料作りであり、難しいところである。ただ今後の自治会運営の負担が少しでも少なくなるようにとは思っており、改善案は出していきたいと考えている。

なお、議事録の作成については、輪番にして分担すべきだと思う。(大塚会長)

- ・顧問は役員会出席を必須としない相談役のような位置づけにしたらどうか。(石井会計理事)
- ・「話し合いが必要な場合は、班長も含め話し合う」とあるが、班長は13名おり、人数が多くなり過ぎないか。(吉川監事)  
→必ず全員が出席というつもりはなく、必要に応じて関係する班長や希望する班長に入ってもらい、役員会の決定事項に反映できればと考えている。(大塚会長)
- ・現理事のほかに行事理事をおくということか。また、報酬額の根拠は何か(吉川監事)  
→新しく増えるのは1名で広報理事分のみであると思う。現在も理事が3名いるので、各副会長が行っている防犯、清掃、行事の業務を副会長のサポートではなく、理事に専属で行ってもらおう考えである。なお、行事は南5フェア・夏祭り・体育祭・あいさつ運動(春・秋)とあるので、それぞれが別の人でもよいように単位を「月」ではなく「回」にしている。

また、役員報酬の割り振りについては、来年度の自治会費を半額にすることを目標に算出してみたものである。他の自治会では役員報酬の無いところも多いと聞いており、私の考えとしては役員報酬無しでもよいとは思いますが、現在自らがもっている手前、来年度から無くすとは言いにくいところである。(大塚会長)

## (6) その他

### ①資源回収場所について

- ・家の前のゴミ集積所における資源ゴミの量が増えてきて、困っているとの相談が寄せられている。(大塚会長)  
→ネットボックスの中に資源物を入れることを呼びかけたり、回収場所ごとに偏りがな  
いか確認をして調整する等自治会でできる範囲の改善方法を、検討していくこととした。  
(後日回覧予定)

### ②南5親睦会について(メール審議)

- ・南5親睦会を旅行に限らず自治会員同士の交流の助成制度とし、活動報告をした方にせ  
んどうの商品券1,000円分を渡す提案をしていたが、特に反響もなかったこと(申  
請1件のみ)、商品券を配布する手間、申請の有無による不公平が発生することを考え、  
改めてこの制度の運用についてメールにて審議を行った。

① 当初の予定どおり申請を出してもらった人に助成を行う。

② 既に下期の会費は回収しない旨連絡済みであるが、それは各世帯に配布予定であっ  
た南5フェアの2,000円と南5親睦会の1,000円の計3,000円の予算  
を充てたためであり、改めて南5親睦会の申請は必要ない旨を説明する。

のいずれかに投票を行ってもらったところ、②が多数であったことから、後日自治会員  
にはその旨を説明するお知らせを回覧することとしたい。

### ③カタログギフトについて(メール審議)

- ・市原市より清掃事業感謝状が贈呈され、記念品としてカタログギフトが贈られた。  
防災グッズやチャリティー募金等でいかがかと意見を募ったところ、防災グッズに多くの票が集まり、特にヘッドライトが複数票を得たため、ヘッドライトを注文することとしたい。

(7) 添付資料

1. 10月中における各活動状況報告
2. 11月・12月の行事確認及び役割分担確認
3. 市制施行60周年特別表彰「自治功労者表彰」について
4. 土砂埋立てによる造成工事のお知らせについて
5. 清水谷小学校創立30周年記念式典について
6. 10月の資源回収実績について
7. SNSアプリ「band」の利用状況について
8. 防災計画の作成について
9. ちはら台南5丁目地区防災のしおり（案）
10. 来年度に向けた各役員の業務内容見直しについて

以 上